

「新たな県立高校将来構想策定に関する県民意識調査」実施要項(案)

1 調査の趣旨

平成 23 年度以降の県立高等学校の在り方等に関する県民意識の集約、分析等を通じ、新たな県立高校将来構想策定に向けた検討資料の一つとするもの。

2 調査対象・対象人数・抽出方法等

一般県民に加え、中学生やその保護者を特に抽出して実施するとともに、現在の高校教育の直接的受益者である高校生やその保護者も抽出して実施する。また、進路指導の現場の声も把握するために、中学校の進路指導担当教員を対象にした調査を併せて実施する。なお、調査対象数は、許容誤差 5% 以内、信頼率 95% 以上を念頭に、クロス分析が可能となるよう抽出する（中学教員を除く）。

(1) 一般県民

抽出数 3,000（回収率の見込み：40%以上）

抽出方法 各市町村の人口比により、市町村選挙人名簿から 3,000 人(男女半々)を無作為抽出

(2) 中学 2 年生・同保護者

抽出数 3,000（中学生 1,500、同保護者 1,500、回収率の見込み：90%以上）

抽出方法 ア) 各圏域のバランス（人口比や所在市町村；各市町村 1 校以上を原則）をみながら、県内公立中学校(217 校；分校含まず)から 50 校程度を抽出

イ) 対象学校では、2 年生の進学希望の生徒から男女各 15 名及び同保護者を抽出

(3) 県立高校 2 年生・同保護者

抽出数 3,480（高校生 1,740、同保護者 1,740、回収率の見込み：90%以上）

抽出方法 ア) 全県立高等学校(2 年生在籍の全日制 75 校・定時制 11 校・通信制 1 校)を対象

イ) 各高等学校の 2 年生の生徒から男女各 10 名及び同保護者を抽出

ウ) なお、理数科・英語科・美術科等の少数学科を有する学校については、当該学科を指定して実施

(4) 中学校進路指導教員

抽出数 217（回収率の見込み：90%以上）

抽出方法 分校を除く県内の全ての公立中学校の進路指導主事（全員対象）

3 実施スケジュール

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| (1) 実施概要の説明 | 8 月 26 日（第 2 回審議会） |
| (2) 調査票案（たたき台）の作成 | 9 月～10 月中旬（たたき台作成後、審議会委員に送付） |
| (3) 調査票案；設問内容等の精査 | 10 月中下旬（第 3 回審議会） |
| (4) 調査票の修正・各委員への確認 | 10 月中下旬～10 月下旬 |
| (5) 調査票の最終調製・発送 | 11 月上旬 |
| (6) 回答締切 | 11 月下旬 |
| (7) 集計・分析・報告 | 12 月中下旬（第 4 回審議会） |

4 調査票の作成に当たって

(1) 調査票は、各調査対象者に共通する質問（例えば「高校で身につけて欲しいこと（身につけたいこと）」のような）と、対象のカテゴリー毎に独立した質問（例えば中学生や同保護者だけに「進学希望学科」を聞く場合など）を設けるものとする。

(2) 設問量は、各調査対象者が集中して回答できる分量を考慮し、性別や年齢等のフェイスシート部分を含んで、A 4 判 4～6 頁程度（フェイスシート除く設問数で 15 問程度）に抑えることとする。